

A.研究目的

日本の歯科衛生士教育が2年制から3年制へ移行するにあたって、臨床実習や臨地実習がどのように実施されているかを知ることによって、今後の歯科衛生士教育の質の向上や安全な医療の確保を行っていく必要がある。

そこで今回は、全国の歯科衛生士養成機関に対し、臨床実習および臨地実習の実施状況を質問票により調査し、また海外の歯科衛生士教育の臨床実習の現状調査を行った。その結果を基に日本における3年以上の歯科衛生士教育の目標、および臨床実習と臨地実習の到達目標について検討を行った。

B.研究方法

本研究 1～3 で得られた全国の歯科衛生士教育機関調査結果を基礎にし、3年およびそれ以上の養成課程における歯科衛生士教育の目標の考え方、臨床実習と臨地実習の到達目標について検討を行った。

ここで、本研究では臨床実習・臨地実習は次のように定義した。

すなわち、「臨床実習」とは、歯科衛生士教育の中で臨床予備実習に続いて行われる、歯科診療所もしくは病院歯科等における患者を対象とした実習である。

「臨地実習」とは、上記の臨床実習以外の公衆歯科衛生現場や社会福祉現場における実習をいう。すなわち、幼稚園、保育所、小学校、中学校、保健所、市町村保健センター、口腔保健センター、企業、さらには社会福祉施設ならびに在宅の訪問歯科診療などが行われている現場を対象とした実習である。

C.研究結果

1. 日本における歯科衛生士教育の目標とする歯科衛生士は次のようである。

- 1) 歯科衛生に関する臨床技術にすぐれていること
- 2) 歯科保健指導・健康づくり支援能力にすぐれていること
- 3) コミュニケーション能力があること
- 4) 管理・マネジメント能力があること
- 5) 歯科および歯科以外の医療職種とチームワークをとることができること
- 6) 公衆歯科衛生的能力・素養があること
- 7) 歯科衛生に関する研究能力があること
- 8) 歯科衛生士の仕事について、高い倫理観、責任感を持ち、判断や行動ができること。

2. 臨床実習および臨地実習の到達目標のために、習熟レベルの評価ができる「臨床実

習の到達レベル表」(表 1)および「臨床実習の到達レベル表」(表 2)を作成した。

この表を用いて臨床実習と臨地実習レベルの到達目標を習熟レベル 2 以上、もしくは 3 以上、すなわち、臨床実習では実技実習ケース 1~5、もしくは 6~10 以上、臨地実習では、歯科保健指導・実技ケース 1、もしくは 2~3 以上を修得することを到達目標とすることが望ましいという結果が得られた。

D. 考察

歯科衛生士教育では古くから臨床実習の中で公衆歯科衛生実習すなわち臨地実習として実施されてきたが、近年臨地・臨床実習¹⁾もしくは臨地実習(臨床実習を含む)²⁾との表現を用いている報告書や通知がある^{1,2)}。これは「臨床実習については、病院に限らず看護が行われるあらゆる場で直接患者、家族等に接する実習を推進するために、臨地実習に改めた」という保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則の一部改正³⁾によっているものと推察される。しかし、歯科衛生士教育の臨床実習は歯科診療所や病院歯科が内容的、時間的に圧倒的に多いことを考慮すると、臨床実習(臨地実習を含む)として本研究を行った。

そこで、本研究では、「臨床実習」は歯科

衛生士教育の中で臨床予備実習として行われる歯科診療所もしくは病院歯科で行われる実習、また「臨地実習」では、臨床実習以外の公衆衛生や社会福祉における公衆歯科衛生や社会福祉の現場の実習をいうと定義した。歯科衛生士の教育の中では臨床実習(臨地実習を含む)とするのがよいと考えられる。

3 年以上における歯科衛生士教育における臨床実習および臨地実習の在り方については今までにいくつかの研究報告書が発表されている。平成 13(2001)年 4 月に発表された平成 11・12 年厚生科学研究「今後の歯科衛生士に対する養成方策に関する総合的研究(主任研究者：可児徳子)¹⁾」では 3 年以上の教育年限が必要であること、また 93 単位 2570 時間のカリキュラムを提案し、平成 16(2004)年 9 月の歯科衛生士養成所指定規則改正に基となったものである。その中では、臨床実習・臨地実習については大幅に時間数(単位数)を増加した案を提案した。その後平成 16(2004)年 5 月には平成 15(2003)年度厚生労働科学研究「歯科衛生士の教育年限と業務範囲に関する研究」(主任研究者：高木裕三)²⁾では、①歯科衛生士法第二条一号の「歯露出面および正常な歯茎の遊離縁下の付着物…」を「歯露出面および歯茎の遊離縁下の付着物及び病的組織

を…」に改訂して、「予防処置」を解釈する必要があること、②「直接指導の下に」を「指導の下に」に改訂すること、③さらに浸潤麻酔、予防処置を無痛下で行うことができるように検討すべきであると提案した。④教育年限が3年以上に延長されたとき高度な医学的素養と技術が要求されるとしている。さらに卒後研修制度の提案も行っている。このようにその中心は法的な改正案として提案されている。

平成17(2005)年11月には、日本歯科医師会歯科衛生士の業務と養成に関する検討臨時委員会「歯科衛生士の業務と養成に関する答申書」⁹⁾では、各都道府県歯科医師会について20医療機関および全国138歯科衛生士養成校について、調査用紙を送付し、歯科診療補助の3つのうちの歯科診療補助の業務内容について、現在(2年制)および将来(修業年限延長後)、歯科医師が歯科衛生士に行なわせることができると考えている行為の3レベルについて集計報告した。その結果、歯石除去(スケーリング)、ルートプレーニング、歯面・根面研磨(PMTCを含む)、齲蝕活動性試験、歯科口腔衛生指導の各項目は現在75.3%~85.3%、養成機関74.2%~81.8%が現在歯科衛生士に行なわせることができるか、将来(修業年限延長後)は歯科医師・養成機関とも100%実施と回答

している。また小窩裂溝填塞は現在歯科医師、養成機関それぞれ64.3%、78.4%であるが、修業年限延長後はそれぞれ87.4%、97.9%であると回答している。

最近、歯科衛生士養成科をもつ全国大学、短期大学における学内実習の調査¹⁰⁾がされているが、学外の臨床・臨地実習については調べられていない。

以上はいずれにしても臨床実習・臨地実習の具体的な到達目標は明確に示されているとはいえなかった。

日本の歯科衛生士の業務は歯科衛生士法の成立した昭和23(1948)年では、歯科予防処置であった。その後昭和30(1955)年には歯科診療の補助が、また平成元(1989)年には歯科保健指導が加わった。すなわち、日本の歯科衛生士の業務は、現在の米国および欧州のような歯科予防処置を歯科医師の指示(一部は指示なし)で行う専門職種としてスタートしたといえる。その後、歯科診療の補助が加わったことが特徴である。尚、歯科診療の補助については、平成19(2007)年1月、日本歯科医学会歯科衛生士業務に関わる検討会(石井拓男座長)「歯科衛生士の歯科診療の補助業務について(中間報告)」¹¹⁾で、歯科診療の補助業務について歯科臨床医学の専門学会に意見を求め、歯科衛生士のレベルをA(豊富な臨床経験が高い

専門能力のある歯科衛生士)、B(一般的な臨床経験と能力のある歯科衛生士)、およびC(免許取得間もない経験の少ない歯科衛生士)の3つに分けて、歯科診療補助の項目を分類している。その中で、咀嚼能力検査、歯面・根面研磨(PMTCを含む)はC、またスケーリング、ルートプレーニング、および小窩裂溝填塞は歯科予防処置で歯科衛生士の基本的な歯科予防処置業務と考えられるにもかかわらず、免許修得間もない経験の少ない歯科衛生士の業務としていない点は現在の歯科衛生士の臨床・臨地実習教育の内容に問題があるか、もしくは歯科衛生士教育の現状が知られていないためと考えられる。

いずれにしても、歯科診療の補助とともに、歯科衛生士が歯科予防処置および歯科保健指導を歯科衛生士の業務として行っていくことができる環境づくり、およびそれに対応する臨床実習・臨地実習の教育実習が3年制移行とともに必要なことは明らかである。そのためには、①歯科衛生士臨床実習・臨地実習教育実施ガイドライン(仮称)の作成、②臨床実習を受け入れる歯科医療機関における指導者研修制度の創設、③関係者の歯科衛生士業務への理解、特に歯科予防処置、歯科保健指導の業務の3点について理解が必要と考えられる。

本研究で訪問した米国で2番目に古く、1916年に創立したボストン市のフォーサイス歯科衛生士学校は創立90周年を記念して、マサチューセッツ薬学・健康科学カレッジ歯科衛生学部として2005(平成17)年3年制コースとしてスタートした。その学校で歯科衛生士教育およびその教科書で有名なE. M. Wilkins⁹⁾は歯科衛生士にはすぐれた臨床能力、尊敬される教育者、健康づくりの支援者、仕事のマネージができること、研究能力があること、公衆衛生的な素養があることが歯科衛生士に求められる能力としている。そして歯科衛生手順は、アセスメント(データ収集)、診断(問題の固定)、計画(方法の選択)、実施(計画の実施)および評価(フィードバック)として歯科衛生士の手順をすすめる能力が必要であるとしている。

米国のDarby and Walsh(1995)⁹⁾も、ほぼ同様な歯科衛生士の業務を定義している。英国のCollinsら(1999)¹⁰⁾は英国の歯科衛生士は歯の研磨、スケーリング、予防薬物塗布、及び浸潤麻酔を歯科医師の指示の下に行うとされていて、歯科診療の介助的な業務は歯科助手にさせている。研究3の海外調査で報告したよう¹¹⁻¹³⁾、今回米国ボストン、デンマークオーフス、英国リーズの歯科衛生士学校を調査で共通していたのは、

歯科衛生士は歯科予防処置、歯科保健指導を主な業務とする専門職であった。局所(浸潤)麻酔やエックス線撮影ができるのは、補助的業務としてなく、歯科衛生士自身が歯科予防処置や歯科保健指導を行う上で、スケーリングやルートプレーニングに伴う痛みの除去、および根面状況を診るためにエックス線撮影を行うためというものであったことが重要な点であると考えられる。

いずれにしても3年以上の日本の歯科衛生士の臨床実習・臨地実習教育を考える際には、歯科診療の補助とともに歯科予防処置および歯科保健指導を充分実施できる環境づくりが必要である。それが可能となるための法的対応も必要である。さらに、歯科衛生士学生の臨地実習の受け入れを促す国からの行政的な通知等も必要であろう。

E. 結論

1) 日本の歯科衛生士教育の目標とする歯科衛生士は、①歯科に関する臨床技術能力にすぐれていること、②歯科保健指導・健康づくり支援能力にすぐれていること、③コミュニケーション能力があること、④管理マネジメント能力があること、⑤歯科および歯科以外の医療職種とチームワークをとることができること、⑥公衆歯科衛生的能力・素養があること、⑦歯科衛生に関する

研究能力があること、および⑧歯科衛生士の仕事について、高い倫理観、責任感を持ち、判断や行動ができることである。

2) 今後の日本の歯科衛生士教育における臨床実習・臨地実習の到達目標は、臨床実習および臨地実習到達レベル表で、レベル2もしくは3以上、すなわち、臨床実習では実技実習ケース1~5、もしくは6~10、臨地実習では歯科保健指導・実技実習ケース1、もしくは2~3以上修得することが望ましい。

F. 文献

- 1) 可児徳子：今後の歯科衛生士に対する養成方策に関する総合的研究(平成11・12年度厚生科学研究(医療技術評価総合研究申請事業)研究報告書 p9,13 2001.4)
- 2) 歯科衛生士養成所指定規則を一部を改正する省令、平成16年9月13日(官報第3934号)
- 3) 厚生省健康政策局：保健婦助産婦看護婦学校養成所指定規則の一部を改正する省令の公布について(通知) 1999.12.27
- 4) 高木裕三：歯科衛生士の教育年限と業務範囲に関する研究(厚生労働科学研究補助金・特別研究事業、平成15年度総括報告書)、2004.5
- 5) 日本歯科医師会歯科衛生士の業務と養成

- に関する検討臨時委員会：歯科衛生士の業務と養成に関する答申書、2005. 11
- 6) 田中丸治宣、大岡知子、本間和代他：歯科衛生士養成短期大学における学内実習実施状況、全国大学歯科衛生士教育協議会会誌第1号(通算11号)；26-39、2007
- 7) 日本歯科医学会歯科衛生士業務に関わる検討会(座長石井拓男)：歯科衛生士の歯科診療の補助業務について(中間報告)、2007. 1
- 8) Wilkins E.M: Clinical Practice of Dental Hygienist 9th ed, P5-8, Lippincott Williams & Wilkins Philadelphia, 2005
- 9) Darby M.L. and Walsh M.M.: Dental Hygiene Theory and Practice, P15-17, W. B. Saunders Company, 1995
- 10) Collins W. J. N., Walsh T. F., Figures K. H.: A Handbook for Dental Hygienist, P3, Wright London, 1999
- 11) 中垣晴男、犬飼順子、高阪利美：E. M. ウィルキンス先生とウィルキンス・フォーサイス・デンタル・クリニック、世界の歯科衛生士教育事情調査①、日本歯科評論 67(3) (No. 773) p171-176、2007
- 12) 高阪利美、犬飼順子、中垣晴男：デンマークオーフス(Aarhus)大学歯学部歯科衛生士学校、世界の歯科衛生士教育事情調査②、日本歯科評論 67(4) (No. 774) 印刷中、2007
- 13) 犬飼順子、高阪利美、中垣晴男：イギリスリーズ大学歯学部歯科衛生士・デンタルセラピスト学科(Graduate Diploma)、イーストマン歯科病院歯科衛生士・デンタルセラピスト学校、世界の歯科衛生士教育事情調査③、日本歯科評論 67(5) (No. 775)、印刷中、2007

表1 臨床実習の到達レベル表

	(習熟レベル)			
1. フッ化物局所塗布とその他の薬物塗布	1	2	3	4
2. 小窩裂溝填塞	1	2	3	4
3. スケーリング・ポリッシング (PMTC を含む)	1	2	3	4
4. ルートプレーニング	1	2	3	4
5. レコード・チャーティング (染出しを含む)	1	2	3	4
6. ポケット・プロービング	1	2	3	4
7. う蝕・歯周病リスク検査	1	2	3	4
8. 歯科保健指導	1	2	3	4
9. 食事栄養相談・指導	1	2	3	4
10. 口腔機能検査・口腔機能訓練	1	2	3	4
11. 口腔のケア・摂食指導介助	1	2	3	4
12. 歯科衛生診断と評価	1	2	3	4
13. 歯科以外の医療職種とのチームワーク	1	2	3	4
14. 歯科診療の補助	1	2	3	4

(注) 習熟レベル1：見学のみ

2：実技実習ケース1～5

3：実技実習ケース6～10

4：実技実習ケース11以上

(ケース：患者、相談者)

表2 臨地実習の到達レベル表

	(習熟レベル)			
1. 幼稚園・保育所	1	2	3	4
2. 保健所・市町村保健センター	1	2	3	4
3. 老人施設	1	2	3	4
4. 小学校・中学校・高等学校	1	2	3	4
5. 養護学校・障害者施設	1	2	3	4
6. 障害者・高齢者診療センター・口腔保健センター	1	2	3	4
7. 在宅訪問歯科診療・歯科保健指導	1	2	3	4
8. 企業・事業所	1	2	3	4
9. その他の臨地実習	1	2	3	4
10. 臨地講義・事例研究(ケーススタディ)	1	2	3	4

(注) 習熟レベル1：見学のみ

2：歯科保健指導・実技実習ケース1

3：歯科保健指導・実技実習2～3

4：歯科保健指導・実技実習4以上

(ケース：個人もしくはグループ)

データ表

—目次—

1. 国内調査票	123
2. 海外調査票	130
3. 国内臨床・臨地実習調査結果表	133
4. 国内臨床・臨地実習調査2年制・3年制別結果表	162
5. 国内臨地実習調査養成機関別結果表	171
6. 海外調査結果表	196

全国の歯科衛生士学校・養成所に対する

臨床実習および臨地実習の実施状況のおたずね

この質問票では「臨床実習」と「臨地実習」は次のように分けてお尋ねします。

臨床実習とは、歯科衛生士教育の中で臨床予備実習につづいて行われる、歯科診療所もしくは病院における実習です。

一方、臨地実習とは、上記の臨床実習以外の公衆歯科衛生や社会福祉施設における実習をいいます。すなわち幼稚園、保育所、小学校、中学校、保健所、市町村保健センター、口腔保健センター、企業、さらには社会福祉施設ならびに在宅の訪問歯科診療などが行われている現場を対象とした実習です。

以下の質問にお答えください。(該当の番号に○、もしくは記入をお願いします)。

1) 貴校についてご記入ください。

1. 専門学校(2年) 2. 専門学校(3年) 3. 短期大学(2年) 4. 短期大学(3年) 5. 大学(4年)

2) 貴校の設立母体についてご記入ください。

1. 公立 2. 学校法人立 3. 医療法人立 4. 歯科医師会立 5. その他

3) 学生数(定員)についてご記入ください。

1. 1年生 () 名
2. 2年生 () 名
3. 3年生 () 名
4. 4年生 () 名

4) 専任教職員数についてご記入ください。

- 4-1) 歯科衛生士() 名
4-2) 歯科医師 () 名
4-3) その他 () 名

5) 臨床実習と臨地実習を合わせたときの総単位数、時間数をご記入ください。

- 5-1) 総単位数() 単位 5-2) 総時間数() 時間

6) 昨年、国が示した修業年限の延長についての貴校対応で該当するものに○を記してください。

1. 3年制に移行 2. 大学に移行 4. 未定 5. 閉校予定

6-2) それは何年ですか。(平成 年)

臨床実習実施状況のおたずね

全て該当する番号に○をつけてください。

1) 臨床実習の目標について、お答え下さい

1-1) 一般目標 (GIO) を作成していますか 1. いる 2. いない

1-2) 行動目標 (SBOs) を作成していますか 1. いる 2. いない

2) 臨床実習先についてお答え下さい。該当するものに○または数をご記入ください。

A: 実習先		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		歯科診療所	病院歯科	歯科大学病院	障害者施設	老人施設	在宅診療	その他
B: 実習時期	1年生	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期
	2年生	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期
	3年生	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期
	4年生	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期
C: 実習打合せ		1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無
D: 実習先の評価票		1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無
E: 実習内容	1. 受付業務							
	2. 消毒・滅菌							
	3. 患者誘導							
	4. 器材準備							
	5. フッ化物局所応用法							
	6. シーラント							
	7. 歯科衛生教育							
	8. 歯科衛生アセスメント							
	9. 歯科衛生判断							
	10. リスク検査							
	11. 栄養指導							
	12. 口腔機能訓練							
	13. X線撮影ボンショニング							
	14. ラバーダム防湿							
	15. 表面麻酔							
	16. 歯石除去							
	17. SRP							
	18. PMTC							
	19. TBI							
	20. 充填物の研磨							
	21. ホワイトニング							
	22. パキューム操作							
	23. 印象採得							
	24. セメント練和							
	25. 仮封							
	26. カルテの口述筆記							
	27. 老人施設での 歯科衛生指導							
	28. その他							
数値を さいて くだ	F: 実習施設数(総数)							
	G: 一人当たりの実習日数	日	日	日	日	日	日	日
	H: 実習時間数							
	I: 単位数							
J: 一人当たりの実習費	円	円	円	円	円	円	円	

*半日は0.5日計算

3) 臨床実習内容について満足していますか。

1. 十分満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

4) 臨床実習の問題点についてお答えください。

4-1) 学校側: 1. 場所 2. 内容 3. 打合わせ 4. 巡回 5. その他()

4-2) 施設側: 1. 場所 2. 内容 3. 打合わせ 4. 感染対策 5. その他()

5) 臨床実習施設の確保についてお答え下さい。

1. 容易
2. やや容易
3. どちらともいえない
4. やや困難
5. 困難

6) 臨床実習施設への貴校の主な窓口担当者とはどなたですか。

1. 校長
2. 学科長
3. 教務主任
4. 教務(担任を含む)
5. 事務職員
6. その他()

7) 臨床実習施設の選択基準はありますか。7-1)

1. ある
2. ない

7-2) あるとお答えになった場合、選択基準はどのようなようですか。(複数回答可)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 常勤歯科衛生士が2名以上 | 7. 歯科医師の経験年数を考慮している |
| 2. 常勤歯科衛生士の経験年数が4年以上 | 8. 歯科医師の年齢を考慮している |
| 3. 患者のスクレーリングができる | 9. 患者数 |
| 4. 患者の保健指導ができる | 10. 診療時間 |
| 5. 患者の予防処置ができる | 11. その他() |
| 6. 学生ロッカーがある | |

8) 臨床実習を依頼する時期についてお答えください。

1. 2年以上前
2. 1年前
3. 6か月前
4. その他

9) 実習先に実習費を払いますか。9-1)

1. 支払う (¥ /日/人) (¥ /日/施設) 9-2) 9-3)
2. 謝金をもらう (¥ /日/人) (¥ /日/施設) 9-4) 9-5)
3. 授受なし

10) 臨床実習の指導者に委嘱状(辞令)などを出していますか。

1. 出している
2. 出していない

11) 臨床実習の打ち合わせ全体会議について、お答えください。11-1)

1. 実施している
2. 実施していない

実施しているとお答えになった場合のみご記入ください。

11-2) 実施時期: 1. 事前 2. 実習中 3. 事後

11-3) 実施回数: ()回/年

11-4)参加者 (複数回答可)

1. 担当歯科衛生士
2. 担当歯科医師
3. その他の歯科衛生士
4. その他の歯科医師
5. その他

12) 臨地実習先への訪問・巡回についてお答えください。12-1)

1. 出向いている

12-2)何時ですか? 1. 事前 2. 実習中 3. 事後

2. 出向いていない

13) 臨地実習先に教員が同行していますか。13-1)

1. 同行している

13-2)何時ですか? 1. 事前 2. 実習中 3. 事後

13-3)回数: ()

2. 同行していない

14) 教育年限延長に伴い、実習先の増減はありましたか。14-1)

1. 増やした ()カ所 14-2)

14-3) 施設の種別はどれですか。問2)の実習先から選んでください。

1. ①歯科診療所
2. ② 病院歯科
3. ③歯科大学病院
4. ④障害者施設
5. ⑤老人施設
6. ⑥ 在宅診療
7. ⑦その他

2. 減らした ()カ所 14-4)

14-5) 施設の種別はどれですか。問2)の実習先から選んでください。

1. ①歯科診療所
2. ② 病院歯科
3. ③歯科大学病院
4. ④障害者施設
5. ⑤老人施設
6. ⑥ 在宅診療
7. ⑦その他

3. 変えていない

15) 今後増やしたいと考えている実習先はありますか。15-1)

1. ある

15-2) 施設の種別はどれですか。問2)の実習先から選んでください。

1. ① 歯科診療所 2. ② 病院歯科 3. ③ 歯科大学病院 4. ④ 障害者施設
5. ⑤ 老人施設 6. ⑥ 在宅診療 7. ⑦ その他

2. ない

16) 臨床実習の事故対策の保険に加入していますか。16-1)

1. 加入している

2. 加入していない

加入していると答えになった場合のみご記入ください。

16-2) どのような種類の保険ですか。

1. 医療系学生用傷害保険
2. 学生用傷害保険
3. その他()

16-3) 保険の範囲はどこまでですか。

1. 実習中のみ
2. 通学中も含む
3. 24時間対応

16-4) 保険料は一人当たりいくらですか。 (¥)

17) 貴校には事故対策マニュアルはありますか。

1. ある
2. ない

18) 臨床実習に求めている内容についてお考えがあればご記入ください。

臨地実習実施状況のおたずね

1) 臨地実習の総単位数と総時間数をご記入ください。

1-1) 総単位数 ()

1-2) 総時間数 ()

2) 臨地実習施設の確保について、該当するものに○をつけてください。

実習施設		施設の確保 (○をつけてください)
①	保健所又は市町村保健センター	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
②	障害者・高齢者診療センター	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
③	口腔保健センター	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
④	幼稚園(保育所含む)	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
⑤	小学校	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
⑥	中学校	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
⑦	高等学校	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
⑧	養護学校	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
⑨	企業・事業所	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
⑩	障害者施設	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
⑪	老人施設	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
⑫	在宅訪問診療	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
⑬	在宅訪問歯科保健指導	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難
⑭	その他	1.容易 ・ 2.やや容易 ・ 3.どちらとも言えない ・ 4.やや困難 ・ 5.困難

3) 貴学で実施している臨地実習について該当するものに○または数をご記入ください。(貴校で実施している実習施設についてのみお答えください。)

A:実習先		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	
		保健所又は市町村保健センター	障害者・高齢者診療センター	口腔保健センター	幼稚園(保育所含む)	小学校	中学校	高等学校	養護学校	企業・事業所	障害者施設	老人施設	在宅訪問診療	在宅訪問歯科保健指導	その他	
該 当 す る 欄 に ○ を つ け て く だ さ い。 E: 実 習 内 容	B: 実 習 時 期	1. 1年生	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	
		2. 2年生	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期
		3. 3年生	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期
		4. 4年生	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期	1.前期 2.後期
	C:実習打合せ		1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無
	D:実習先の評価票		1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無
	1. 見学															
	2. フッ化物塗布															
	3. スケーリングまたはPMTC															
	4. TBI															
	5. リスク検査(う蝕)															
	6. リスク検査(歯周病)															
	7. リスク検査(口腔機能)															
8. 栄養指導																
9. 口腔機能訓練																
10. 食事介助																
11. 摂食指導																
12. 歯科衛生指導計画																
13. その他																
数 値 を 入 れ て く だ さ い	F:実習施設数(総数)															
	G:一人当たりの実習日数*		日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	
	H:実習時間数															
	I:単位数															
	J:一人当たりの実習費		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

*半日は0.5日計算

ご協力ありがとうございました。

Questionnaire for clinical practices teaching in a dental clinics or hospital

Please write in your country and state or province.

country state or province

Do you have programs of clinical practices in dental clinics or hospitals?

Yes No

If you check "yes", please answer from Q1 to Q5.

If you check "No", please answer for Q6.

Q1. Please check if students do practices in dental clinics and/or hospitals

(Please check more than one)

Items of clinical practice	In dental clinics and/or hospitals	
	Observation	Practice to
Reception work	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Disinfection and sterilization	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Guiding to dental chair	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Preparation of dental instruments	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Topical fluoride application	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Pit and Fissure sealing	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Scaling	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Root planning	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Tooth brushing instruction	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Dental health education	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Dental hygiene assessment	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Dental hygiene diagnosis	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Caries risk tests	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Diet counseling	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Training of oral function	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
X-ray dental	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Pannoramic	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Local anesthesia	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Filling of dental materials	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Polishing of filling materials	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Extraction of deciduous teeth	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
PMTC	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Vacuum operation	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Rubber dam	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Impression	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Mixing cement	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Temporary sealing	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Records of patients oral condition	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Tooth whitening	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Dental health education for institutionalized elderly	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q2. Please check or put the numeric value concerning to clinical practices

(Please check more than one)

Place of clinical practices	A prior arrangement	Visit	Practice	Number of day	Number of hour	Number of credit
Univ Dental Hospital	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()
Dental Clinic in General Hospital	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()
Private dental clinic	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()
Insti. for disabled persons	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()
Insti. For the elderly	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()
Visiting home	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()
Company	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()
Nursery school	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()
Elementary school	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()
Middle school	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()
High school	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()
Schools for the disable students	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()
Others	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	()	()	()

Q3. Is the prior arrangement with corresponding persons in clinical practices sufficiently performed? (Please check one)

- Sufficient Good Good, but needs to improve
 Insufficient, but can be improved Insufficient

Q4. Please check, who evaluates the students

Evaluation	Evaluation		Evaluator	
	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No		
Evaluation Table	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	<input type="checkbox"/> Dental hygienist	<input type="checkbox"/> Dentist
OSCE	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	<input type="checkbox"/> Dental hygienist	<input type="checkbox"/> Dentist
Objective evaluations	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	<input type="checkbox"/> Dental hygienist	<input type="checkbox"/> Dentist
Oral examinations	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	<input type="checkbox"/> Dental hygienist	<input type="checkbox"/> Dentist
Reports	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	<input type="checkbox"/> Dental hygienist	<input type="checkbox"/> Dentist
Self evaluation	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	-	-
Others	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	-	-

Q5. Please let me know, if you have or are planning any clinical practices for dental hygienist students not mentioned above ?

1	
2	
3	
4	
5	

Q6. Why are clinical practices not performed?

- The above practice is performed in the school
- Although we need to perform such practice, cooperation has not been obtained.
- Although we need to perform such practice, it is not yet ready in our school.
- Although such practice is needed, these are carried out by training after graduation.
- There are no necessity in our school

Others

Thank you very much for answering to our questionnaire.

フェースシート結果

1) 貴校についてご記入ください。

1. 専門学校(2年) 2. 専門学校(3年) 3. 短期大学(2年) 4. 短期大学(3年) 5. 大学(4年)

	専門学校 2年	専門学校 3年	短期大学 2年	短期大学 3年	大学 4年	合計
件数	64	31	3	9	3	110
%	58.2	28.2	2.7	8.2	2.7	100.0

2) 貴校の設立母体についてご記入ください。

1. 公立 2. 学校法人立 3. 医療法人立 4. 歯科医師会立 5. その他

	公立	学校法人立	医療法人立	歯科医師会立	その他	合計
件数	15	51	6	32	6	110
%	13.6	46.4	5.5	29.1	5.5	100.0

3) 学生数(定員)についてご記入ください。

		50人未満	50人以上 100人未満	100人以上 150人未満	150人以上	未回答	合計
1年生	件数	49	56	4	1	0	110
	%	44.5	50.9	3.6	0.9	0.0	100.0
2年生	件数	49	54	5	1	1	110
	%	44.5	49.1	4.5	0.9	0.9	100.0
3年生	件数	14	18	2	1	75	110
	%	12.7	16.4	1.8	0.9	68.2	100.0
4年生	件数	1	0	0	0	109	110
	%	0.9	0.0	0.0	0.0	99.1	100.0

4) 専任教職員数についてご記入ください。

		0~1人	2人	3~4人	5~9人	10人以上	未回答	合計
歯科衛生士	件数	0	5	44	61	0	0	110
	%	0.0	4.5	40.0	55.5	0.0	0.0	100.0
歯科医師	件数	42	10	7	4	1	46	110
	%	38.2	9.1	6.4	3.6	0.9	41.8	100.0
その他	件数	37	10	10	3	0	50	110
	%	33.6	9.1	9.1	2.7	0.0	45.5	100.0